

2022 年度小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	構造材料耐火性小委員会		主 査 名：道越 真太郎 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：原田 和典
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2017 年 2 月に刊行した「構造材料の耐火性ガイドブック(第 3 版)」のフォローを行うとともに、2025 年 3 月に第 4 版を刊行することを目的とする。 初年度：改訂アンケートの分析、火災時における各種構造材料の高温性状、高温物性試験に関する情報収集・データ分析 2～3 年度：情報収集、改訂原稿の執筆及び WG 内査読 4 年度：改訂原稿の防火本委員会査読、発刊および改訂講習会の実施		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 主査：道越真太郎 (大成建設) 幹事：梶田秀幸 (前田建設工業)、平島岳夫 (千葉大学) 委員：梅本宗宏 (戸田建設)、常世田昌寿 (建材試験センター)、小林利充 (大林組)、鈴木淳一 (建築研究所)、藤原武士 (エスケー化研)、津村千香子 (竹中工務店)、金城仁 (ベターリビング)、染谷朝幸 (日建設計)、浦川和也 (佐藤工業)、森田武 (清水建設)、四元順也 (日本建築総合試験所)		
設置 WG (WG 名：目的)	『構造材料の耐火性ガイドブック』の作成・発行を目的として、各種材料に関する調査・情報収集・提案・データ分析を行う。 ・コンクリート耐火性 WG：コンクリートを扱う。 ・木質材料耐火性 WG：木質材料を扱う。 ・アルミニウム耐火性 WG：アルミニウムを扱う。 ・鋼・耐火被覆 WG：鋼と耐火被覆を扱う。 ・新材料耐火性 WG：加熱発泡材料を扱う。		
2022 年度予算	165,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む、6/6、9/30、12/14、3/17)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	概ね予定どおり
委員会活動の問題点・課題	問題点・課題は特に無し